特別養護老人ホーム　「杜の家」

平成２６年度事業報告

重点取り組み課題

１　平成３０年度入居率１００％を目標に、平成２８年度までに入居率９８％を達成する

２　介護職員のスキルアップと医療体制の整備を進め、入居者へのサービスの向上に努める

３　組織改革を進め職場環境の改善を図り、働きやすい職場づくりに努める

４　地域の関係団体と連携し、地域活動の拠点としての施設運営を進める

1.　平成３０年度入居率１００％を目標に、平成２８年度までに入居率９８％を達成する

①　　渉外活動により知名度向上を図る

近隣施設（病院、老健、特養）及び企業、地域自治会への施設広告紙の配布を行う

成　果

八幡東西区の居宅支援事業所、自治会へ施設広告紙の配布を行い、年末にかけて近隣病院、老健等へ杜の家卓上カレンダーの配布を行った。

今後は遠賀・中間地区及び直方市、鞍手郡の居宅介護支援事業所、病院、老健への広報紙の配布、ソーシャルワーカーとの連携を図り知名度向上を図る。

②　職務分掌により効率的な入所受け入れ体制の確立を図る

適切な職務分掌を行い、計画的、且つ速やかな入所実現し施設運営の安定を図る

成　果

入居支援担当者により、入院等による退去予定者及び新規入居予定者の状況を的確に判断し、速やかな受入れを図る手続きを計画的に行った。

平均入居率　：　98.8%（25 年度 91.0%）

③　入所待機者の確保

成　果

各種広告活動により、入居待機者の増加を図った

第一希望待機者　：　１４名（25 年度　４名）

２　介護職員のスキルアップと医療体制の整備を進め、入居者へのサービス向上に努める

①　プリセプター制度（メンター制度）を導入した人材育成制度の構築

健全な組織人意識を持つ指導者（現場職員）の養成を行い、ＯＪＴを通じて専門職として優秀な人材育成を行う

成　果

健全な組織人意識を持つ指導者（現場職員）の養成を行い、各ユニットに配置し、業務マニュアルを基に新入職員へＯＪＴを通じての人材育成を行った。

これにより、各職種において新入職員による早期ケア統一が可能となった。

②　専門性を重視した各種研修会の参加及び開催

各専門職が知識、技術の向上を目的とし、積極的に施設内外の研修参加及び開催を行う

成　果

各専門職が定期的な職場内実技研修を実施し、介護・看護・栄養技術の向上を図った。

また、各課が外部の研修へも積極的に参加し専門技術の向上を図った。

• 研修会の様子

職場内研修

外部講師（麻生教育サービス）研修

③　積極的な資格取得を推進

資格取得支援制度を設け、各職員が専門職としての自覚と目標をもち、積極的に資格取得を目指す

成　果

人材育成の一環として、職員の資格取得を支援する制度を設け積極的な　資格取得を目指した。また、介護福祉士資格取得に向け施設内での講習会を開催した。

平成２６年度介護福祉士試験合格者　　３名

④　「傾聴」、「ＡＤＬケア」、「外出」を組み合わせＱＯＬの向上を図る

入居者が充実した日常生活がおくれるよう、入居者と職員が協働して入居者の機能的向上、精神的充実を図る

成　果

入居者の思いを聞き取り、介護技術マニュアルに基づくケアと積極的な外出を組み合わせＱＯＬ（生活の質）の向上を図った。

⑤　24 時間看護体制の基盤整備

多様化する医療ニーズに対応すべく医療体制基盤を構築する

成　果

地域の医療ニーズに対応すべく、看護技術の向上を図り、入居者、ご家族に安心・安全な２４時間の医療体制の提供を図った。これにより医療行為の必要な入居者を受け入れることが可能となり入居率の向上につながった。

また、平成２６年度より、定期的な看取り介護研修を行い、平成２７年度より看取り介護を開始する。

３　組織改革を進め職場環境の改善を図り、働きやすい職場つくりに努める

①　職務分掌を明確にし、業務の効率化を図る

各部門の職責、職権を明確に円滑な業務・組織運営を行う

成　果

職務分掌を行い、各部門の職責、職権を明確にし、計画的、且つ速やかな入所を実現し施設運営の安定化を図った。

②　職場改善委員会を通じた働きやすい職場つくりの促進

定期的に委員会を開催し、職場内の意見交換を行うことにより職場環

環境の改善を図る

成　果

職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境の改善を図った。

４　地域の関係団体等と連携し、地域活動の拠点としての施設運営を進める

①　行事等を通じた地域と施設の交流の促進

地域の方々に施設行事の参加を促し地域、施設間の交流を図る

成　果

地域代表の評議員河村及び栗山両氏の協力を得て、地域の住民に方々を対象とした「健康教室」を開催し、参加者からの好評を得た。（継続事業）

夏祭り、敬老会、白鵬関来所（地域の方々とのちゃんこ鍋、幼稚園児とのちびっ子相撲）、年末餅つき、居酒屋「杜」開催等地域の方々の参加、ご協力をいただき施設行事を行った。

・健康教室の様子

・夏祭りの様子

杜の家最大のイベントである夏祭り。26 年度も多くの方にご来場いただきました。食べて飲んで笑って催し物を見て、金魚すくいやヨーヨー釣りも大盛況でした。入居者や来場した子ども達よりもムキになって金魚すくいを行う職員を見るのも恒例となってきました。

・各イベントの様子

敬老会

もちつき

どんどやき（畑地区）

居酒屋「杜」

毎月季節に合わせたイベント等を行ったり、地域の行事に参加したりしています。居酒屋は毎月最終火曜日の 18 時より行っています。ご一緒にいかがですか？

・白鵬関来所時の様子

横綱白鵬関来所もオープンから毎年連続の３度目となりました。今回はちびっこ相撲や親方による宮城野部屋特製ちゃんこ鍋の試食も行いました。幼稚園児より先生の方が張り切って相撲をとっていました。来所の際はまた施設でお知らせを行いますので、是非お越しください。

② 地域と連携した敷地内の農作

近隣地域の方々の協力を得て、入居者、家族、職員が協働して敷地内で農作や園芸を行う

成　果

敷地を活かした菜園を造り、地域の方々からご協力をいただいて、さつま芋の栽培をし、入居者と収穫を行った。現在、じゃが芋、玉葱の栽培を行っている。

・収穫の様子

たくさんのさつま芋を収穫しました。芋の茎も調理して提供したのですが、職員は芋の茎を剥くのが遅く、ほとんどを入居者の方にやっていただくことになりました。年の功にはかないません。またよろしくお願いします。

③ 家族会の開催

定期的に家族会を発足し、相互の意見交換を行うことによりご家族と施設の連携を強化する

成　果

年２回（８月、１２月）の家族会を開催。意見交換を行い、ご家族と施設との連携を図った。

また、家族会の運営をより有意義なものにするため、北山理事（家族会会長）及び施設職員が他施設（熊本県）を視察した。

・家族会の様子

・家族会視察の様子

施設の行事に積極的に参加（踊りなどの企画・食事会・定期清掃等）しており、参加後に入居者と食事会を開催するなど、施設と一体となった活動を実施。また、家族会独自で広報誌の発行（年８回）を実施している。

入居者情報

定員 100 名　　入居者 99 名（平成 27 年３月 31 日現在）

毎月１日現在

年月	入居者数	要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		介護度
		市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
26 年 4 月	98	14	2	10	2	28	5	17	2	12	6	3.11
26 年 5 月	99	15	2	9	2	30	5	16	2	11	7	3.09
26 年 6 月	99	15	2	9	2	28	5	17	3	11	7	3.11
26 年 7 月	99	15	2	9	2	28	5	17	3	11	7	3.11
26 年 8 月	100	16	2	9	2	24	4	24	3	10	6	3.12
26 年 9 月	97	15	2	9	2	22	4	24	3	10	6	3.14
26 年 10 月	100	16	2	11	1	21	5	25	3	10	6	3.12
26 年 11 月	99	15	2	11	0	21	5	25	3	10	7	3.17
26 年 12 月	99	17	3	12	0	21	4	23	3	10	6	3.06
27 年 1 月	98	17	3	12	0	19	4	23	3	11	6	3.08
27 年 2 月	98	17	3	13	0	17	4	24	3	11	6	3.08
27 年 3 月	100	17	3	14	0	19	4	24	3	10	6	3.08
27 年 4 月												3.

退去者

前年度：20 名　（在宅復帰　２名　入院・転院　12 名　入院・死亡　６名）

今年度：19 名 （在宅復帰　０名　入院・転院　10 名　入院・死亡 ９名）

職員状況 90 名

施設長　中村　哲也

事務長　坂上　慎一

職員数

	課　長	課長補佐	係　長	主　任	職　員
生活支援課	1	0	2	11	35(11)
入居支援課	2	0	0	0	0
看　護　課	0	0	2	0	4
栄養管理課	1	0	1	1	3(5)
総　務　課	0	0	0	3	(6)

※（　）内はパート職員

職員資格取得情報

理学療法士	１名
社会福祉士	１名
介護支援専門員	４名
介護福祉士	21 名
介護職員基礎研修	４名
介護職員初任者研修	４名
ヘルパー1 級	１名
ヘルパー2 級	22名
看護師	４名
准看護師	３名
管理栄養士	２名
栄養士	１名
調理師	１名
第二種衛生管理者	１名
甲種防火管理者	４名

事故報告

北九州市への報告義務（病院受診）がある事故件数　22 件　前年 9件